

## 第 8 回 P-drug ワークショップのご案内

### The Eighth Workshop on Rational Pharmacotherapy in Japan

医薬品の適正な使用を目指して WHO によって提唱されるパーソナルドラッグ (personal drug: P-drug) は、エビデンスに基づき「自家薬籠中の薬」を選び、ついでそれを正しく患者に用いるというものです。このコンセプトとその使用法を広めることを目的として、ヨーロッパ、アジア、アフリカの各国でワークショップが開かれております。日本では 1998 年よりワークショップが開催され、アジア諸国からも多数参加者がありました。

今回は日本語で 2 日間のワークショップを開催いたします。ふるってご参加ください。

日 時 : 2007 年 9 月 1 日(土) 13:00 ~ 2 日(日) 15:00

会 場 : 九州大学医学部百年講堂中ホール3 (福岡市東区馬出 3-1-1)

主 催 : 九州大学大学院 医学研究院 生体情報科学講座 臨床薬理学分野 笹栗俊之

共 催 : P-NET-J (P-Drug Network In Japan, <http://p-drug.umin.ac.jp/>)

対象者 : 医薬品の適正使用に興味があり、全プログラムに参加できる方  
(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、学生、MR 等、職種を問いません)

定 員 : 約 40 名 (原則として先着順)

参加費 : 6,000 円 (学生は無料)、懇親会費 7,000 円 (宿泊は各自で御用意下さい)

ファシリテータ : 内田 英二 (昭和大学医学部教授・第二薬理学)  
津谷喜一郎 (東京大学客員教授・医薬政策学)  
角南由紀子 (医療法人相生会大崎クリニック)  
野元 正弘 (愛媛大学大学院教授・病態治療内科)  
森本 卓哉 (大分大学医学部助教授・臨床薬理)、他

申込方法 : 氏名、年齢、職業(所属)、連絡先住所、電話、Fax 番号、E-mail アドレスを明記の上、「ワークショップ参加希望」と題して、Fax 又は E-mail でお送り下さい。お問い合わせも Fax 又は E-mail にてお願いいたします。

申込先 : 九州大学大学院 医学研究院 生体情報科学講座 臨床薬理学分野 笹栗俊之  
FAX: 092-642-6084  
E-mail: [sasaguri@med.kyushu-u.ac.jp](mailto:sasaguri@med.kyushu-u.ac.jp)

締め切り : 8 月 17 日(金)

## 第8回 Pドラッグワークショップ 合理的な薬物治療をどう学ぶか

### プログラム

#### 1日目: 2007年9月1日(土)

- 12:30 - 13:00 受付
- 13:00 - 13:30 参加者の自己紹介、ワークショップの目的  
13:30 - 14:00 講義: エビデンスに基づく薬剤選択とPドラッグ(内田)  
14:00 - 14:30 講義: 合理的処方6ステップ(笹栗)
- 14:30 - 14:45 休憩
- 14:45 - 15:15 グループワーク: 一般的な状況に対する演習の計画  
15:15 - 19:00 グループワーク: Pドラッグの選択  
: 薬物群の目録作成  
: 薬物群の選択  
: 薬剤の選択
- 19:30 - 21:30 懇親会

#### 2日目: 2007年9月2日(日)

- 9:30 - 12:00 グループワーク: Pドラッグの処方  
: Pドラッグの適合性を確認する  
: 処方箋を書く  
: 患者への情報伝達とモニタリング
- 12:00 - 13:00 昼食
- 13:00 - 14:30 発表: 各グループ  
14:30 - 15:00 参加者の施設におけるPドラッグ普及活動
- 15:00 閉会